

5 お子さんとの会話を充実させるポイント

伝えたい内容を言葉で表現できるようにしたいとき

お子さんが伝えようとしていることを受け止め、「～ということは、○○だね。」「つまり、○○ということかな。」と要約したり、言い換えたりするなど、表現のヒントを示しましょう。

お子さんの伝えようとする気持ちを大切にしながら、話の内容を要約したり、別の表現に言い換えたりするなどして、お子さんが自分の伝えたい内容にふさわしい表現を考えられるようにすることが大切です。

難しい課題を解決できるようにしたいとき

お子さんの様子を見ながら、「どうしたらいいと思う。」「なぜうまくいかないのかな。」などと解決の見通しをもたせたり、それまでの取組を振り返らせましょう。

保護者の方が、すぐに解決方法を示すのではなく、解決への見通しをもたせたり、うまくいかない原因を振り返らせたりするなどして、お子さんが自分で解決できるようにすることが大切です。

筋道立てて自分の考えを説明できるようにしたいとき

「どうしてそう考えたのかな。」「それは、どこから分かるのかな。」など、お子さんの考えたことについて、そのように考えた理由や根拠を確かめましょう。

保護者の方が納得できたとしても、他の人も同じように納得できるとは限りません。当たり前と思えることでも、理由や根拠を確かめるなどして、お子さんが自分の考えを筋道立てて説明できるようにすることが大切です。

お子さんが、保護者の方に安心して自分の考えを伝えられるように、以下のようなことにも気を付けてみましょう。

- お子さんの顔を見て、会話をしましょう。
- うなずいたり、受け止めの言葉を発したりするなど、積極的に聞いている姿勢を示しましょう。
- お子さんの話を、最初から否定しないで聞きましょう。
- お子さんの話を、最後までさえぎらずに聞きましょう。



令和4年度「児童・生徒の学力向上を図るための調査」のお知らせ

調査実施日 令和4年5月16日(月)から令和4年6月24日(金)までの間
(詳しくは、後日、学校からお知らせがあります。)

調査対象

都内全公立小学校	第4学年～第6学年
都内全公立中学校	第1学年～第3学年
都内全公立義務教育学校	第4学年～第9学年
都内全公立中等教育学校	第1学年～第3学年

右の二次元コードから、「児童・生徒の学力向上を図るための調査」のホームページを閲覧することができます。



調査内容 児童・生徒の学習意欲や学校・家庭での学習の進め方など、学びに向かう力等に関する意識を調査

調査方法 児童・生徒用のパソコンやタブレット端末を用い、ウェブシステムを通じて回答